(1月、5月、9月の25日発行) 児童家庭支援センター ゆめのね 横浜市保土ケ谷区和田2-2-7 メゾン横山1階 TEL 045-465-4472 発行責任者:山下 きよ子





## 地域交流事業などイベント参加のご報告



地域のみなさまに「子ども・子育ての相談事業所」として認知いただけるよう、日ごろ より様々なイベントを実施しています。

2025

6月8月





地域ケアプラザと共催で、玉ねぎの皮を使った染め物 体験を開催しました。

6月26日に常盤台地域ケアプラザ、8月2日に今井地域 ケアプラザで開催し、多くの地域の方にご参加いただき ました。輪ゴムや洗濯ばさみで模様をつけた白いバッグ が、鮮やかな黄色に染まっていく様子を楽しんでいただ きながら、当センターの活動をご紹介しました。



#### おもちゃ文庫(地域活動ホームゆめ)でのイベント

保土ケ谷区の地域活動ホーム「ゆめ」内のおもちゃ文庫を会場に、親子向けのイベントを開催しています。

#### ゆめのね心理さんが訪問

ゆめのねの心理担当職員がおもちゃ文庫を訪 問。発達に関するプチ講座を開いたり、訪れ た親子と交流を重ねています。







~ 今後の予定 ~

子育ておしゃべりカフェ 10/16,12/11,2/12 ゆめのね心理さんが訪問 11/13,1/8,3/12

#### 子育ておしゃべりカフェ

地域活動ホーム「ゆめ喫茶」提供のお菓子&飲 み物は、毎回、ご来場者の皆さんにご好評いた だいています。参加者さん同士の交流も生まれ





※ いずれも

10:00~12:00の開催です※

#### 心理担当職員からのお知らせ



この度、子どもの心理セラピーのため のプレイルームを新しく設えました。 子どもがリラックスして遊びに夢中に なる中で、自身のペースで気持ちを安 心して表現できることを目指していき



## 構浜型児童家庭支援センター ゆめのね

児童福祉法に基づき横浜市から認可を受け、2018年に開設した児童福祉施設です。 相談員や心理担当職員などを含め、10人の職員が支援にあたります。

#### 

0~18歳までの子どもに関する相談をお受けし、必 要に応じて、関連機関と協力しながら解決に向けた お手伝いをします。

#### 子育て短期支援事業

2~12歳(小学生まで)の子どもを対象とした構浜 市の委託事業で、利用の必要性を区や児童相談所が 判断し、必要と認められた場合に利用できる事業で す。利用には登録が必要で、世帯の収入に応じた利 用料が発生します。

#### 地域交流事業

イベントや子育てに役立つ講座などを通し、地域の 方々と交流します。

#### 里親子・ファミリーホーム等への支援

地域で生活する里親や里親宅で暮らす子ども、ファ ミリーホームの養育者の方からの相談をお受けして います。

#### ●相談時間は月~金曜の平日 10~17時

(※年末年始12/29~1/3を除く)

●男性スタッフ・女性スタッフが常駐

#### ◆ 相談例 ◆

・子どもの発育状況が気になる… ・イライラして子どもに当たってしまう… ・(子ども)学校でイヤなことがあった…

#### 相談方法をえらべます





匿名でも結構です。

の相談もお受けしま



話ししたい方におす すめです。電話にてま ずはご相談ください。

来所

もしもしっ



心理担当

子育て応援団長「のねさん」

好きなことはひとのお話をきくこと。

じょうろは

支え合いのシンボル

夢はふたばから花を咲かせて

お友だ<mark>ちにとどけるこ</mark>とです。













元気と成長のバロメーター

花が咲く、かも!?

ここぞ!というとき

色が変わる!?











## 🍰 相鉄線 🎂 星川駅・和田町駅から 徒歩 約10分 アクセス



No.11/2025 (令和7) 年9月25日発行

★ 運営

★ 利用料

# White the way with the state of マルっとほどか

保土ケ谷区などで様々な活動をおこなう方々を ゆめのね職員が訪問、紹介します



## 障害のあるお子さんや、発達に心配のあるお子さんが 安心して遊べて、おもちゃも借りられる!

# 横浜ラポールおもちゃ図書館

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団

★ 場所 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

横浜市港北区烏山町1752番地 横浜ラポール3階

★ 開室時間 9:30~17:00 (あそびエリアは 12:00~13:00 閉室)

★ 休館日 第二火曜日、年末年始

無料 ※ご利用には、横浜ラポール利用者カードの登録が必要

★ 対象 障害や発達に心配のある0歳~小学生までのお子さん

※月・火曜の9:30~12:00は、フリータイム

障害の有無に関係なく利用できます

けられるおもちゃの数など、詳しい 用方法はおもちゃ図書館の Instagram、横浜ラポールのホーム



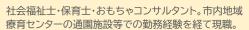


★ 電話 045-475-2055 (文化事業課)

奥に貸出エリア

#### ゆめのねインタビュ-

おもちゃ図書館 担当事務



#### 施設の設立経緯について教えていただけますか?

はい。おもちゃの貸し出しや遊び場を提供するこ とで、障害のある子どもたちが遊びの幅を広げ、人 との関わりの中で生活を豊かにすることを目的に、 横浜ラポールの設立とともに、1992年にオープン しました。文科省の「横浜21世紀プラン」の一環と して計画されたもので、当初は、「横浜障害児を守 る連絡協議会」などと協力して準備を進めたそうで す。開館当時、部屋は空っぽの状態で、初代担当職 員が地域のボランティアや先駆者の方々の協力を得 て、おもちゃの買い付けや番号付けから始めたと聞 いています。

#### それにしても、おもちゃの数がすごいですね!

年間で貸し出しと遊び場あわせて、延べ1万人の 利用があり、個人・団体あわせて、延べ8,500個ほ どのおもちゃを貸し出しています。"あそびエリ ア"には70点ほどのおもちゃが出ていますが、少し ずつ入れ替えもしています。珍しいものとしては、 家庭では準備しにくい障害児向けの海外製のおも ちゃですね(写真:右)。また、30年以上活躍して いるものもありますが、おもちゃの修理をするボラ ンティアの方々がいらっしゃることで、長く使える おもちゃも多いです。







#### ボランティアの存在も大きいのですね

おもちゃの修理をしてくださるボランティアの 方々に加え、布絵本グループの皆さんの力も大きい です。ぬくもりのある布絵本は全部手作りで、横浜 で活動するいくつかのボランティアグループから寄 贈していただいています。ゲーム全盛時代ですが、 布絵本に触れ夢中になって遊んでいるお子さんの姿 を見ると、おもちゃ本来の力を感じますね。



海外製の障害児向けおもちゃ。黄色のプ レートを押すと、スパンコールがきらきら 舞って、とってもきれいです♪



ボランティア団体手作りの布絵本も大 人気!開館から30年以上にわたって、 様々な作品を寄贈してくださってい



# あそびエリア



# お どんなところ?

# 貸出エリア



#### おもちゃ・絵本の貸し出し

障害のある方や発達に心配のあるお子さん、障 害児・者関連の団体やグループを対象に、おも ちゃや絵本類の貸し出しを無料でおこなってい ます。費用は無料。利用には、横浜ラポールでの 利用登録が必要です。(貸出しは年齢制限なし)











開館当初と比べて、利用状況に変化はありますか?

過去20年くらいで利用状況は大きく変わって、特 に平日の利用者数は減少傾向にあります。ここ10年 ほどで民間の児童発達支援事業所や放課後等デイ サービスが増えたことは、大きなきっかけのひとつ かと思います。また、昔はおもちゃ図書館が居場所 だったお子さんたちが、地域子育て支援拠点の整備 が進められるにつれ、近所の広場やサロンに居場所 を見つけていることも関係していると思われます。 共働きの世帯も増えていますし、まずは「近くて、 行きやすい場所 | が大事なのかなと感じますね。

一方では、療育センターなどの専門機関に相談し ていてもなお不安が残る方や、お子さんの行動への 対処法がわからず深く悩んでいる方も多くいらっ しゃいます。おもちゃ図書館に専門職は常駐してお りませんし、特別な支援を行うわけではありません が、おもちゃを通してこの場に来られた方が『居心 地がいい』、『障害があることを当たり前にわかっ てもらえ、安心して遊べる』と感じられる、絶妙な 距離感こそが私たちの強み、余暇支援施設としての 横浜ラポールの良さだと思います。

#### ぜひ、ゆめのねでも利用させていただきたいです! 我々のような支援者同士のつながりも大切ですね

はい!おもちゃ図書館のことを知らない人はまだ たくさんいて、どうしたら必要な人に情報が届くの か、日々試行錯誤しています。コロナ禍の2020年 からインスタグラムを始め、近隣ではない方にも情 報が届く有効な手段となっていると感じています。

また、こちらから地域に出向くアウトリーチにも 力を入れていきたいと考えています。ラポール上大 岡では月1回、「おもちゃのひろば@ラポール上大 岡 | を開いています。おもちゃを持ち出す、いわゆ る"移動図書館"ですが、地域に出向くことで拾える 声があるなと実感しています。5年前からは、港北 区の地域子育て支援拠点 どろっぷさんと共催で、

『のびのび月ようび』(※下記参照)というひろばも も始めました。会場は横浜ラポールですが、利用者 カードがなくても参加可能です。発達に心配のある お子さんと保護者の方が、先輩保護者とおしゃべり しながら過ごせます。不安のある時期に気兼ねなく 過ごせる場として、意味がある場所だなと実感して

ここにくることで、横浜ラポールの他の魅力にも 触れられるので、おもちゃ図書館や『のびのび月よ うび』を入り口に、ぜひ多くのみなさんにご利用い ただけたら嬉しいです!

### のびのび月ようび

in 横浜ラポール

会場 : 横浜ラポール 3階「ラポール座」 時間: 毎月第4月曜10:00~11:30

対象 : 発達に心配のあるお子さんと保護者の方

参加費 : 無料

予約: 不要(横浜ラポール利用者カードも不要)

主催 : 横浜ラポール/港北区地域子育て支援拠点どろっぷ